

「創造農村ワークショップ in 石垣市」 ご案内

豊かな自然環境の中において、創造性が刺激され、コミュニティの課題の解決に取り組むアーティストや文化芸術団体等の創造的な人材の活躍の場が創出されるなど、創造の場に富んだ農村が、全国各地で固有の文化を育みながら独自の取組を行っています。

創造農村ワークショップは、人口減少や高齢化等、地方自治体、特に農山村部を含む地域の課題に関して、自治体職員や地域住民の皆さまが情報やノウハウなどを共有する機会となります。本ワークショップは、今後、部会の設置、継続開催をめざしてまいります。皆さま、ぜひ奮ってご参加ください。
(<http://creative-village.jp/>)

●開催日：平成30年（2018年）10月17日（水）・18日（木）

●会場：石垣市民会館 中ホール

（〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-2 TEL 0980-82-1515）

●プログラム

10月17日（木）15:00～17:30

<創造農村ワークショップ>

◆基調講演

「離島からの文化発信」 佐々木雅幸（CGNJ顧問、同志社大学 教授）

◆パネルディスカッション

「八重山音楽の国際発信 ～ユネスコ創造都市〈音楽〉に向けて～」

【パネリスト】

久万田晋（沖縄県立芸術大学附属研究所 教授）

大工哲弘（八重山民謡 唄者）

野田隆司（桜坂劇場 プロデューサー）

【モデレーター】

杉浦幹男（アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター）

◆総括 佐々木雅幸（同上）

10月18日（金） 午前中～14時終了予定

※ 下記エクスカージョンにより終了時刻は異なります。実施については、ご参加希望人数により決定することといたします。参加申込フォームに各プログラムの参加のご希望をご回答ください。

<エクスカージョン（予定）>

(A) 八重山伝統音楽体験

(B) 八重山ミンサー見学・体験

(C) 川平観光農園体験プログラム

(D) 離島（小浜島・竹富島）視察

（いずれも実費。4,000円程度）

- 主 催：文化庁、創造都市ネットワーク日本
- 共 催：石垣市
- 担当幹事：篠山市

※プログラム詳細は CCNJ 公式サイト (<http://ccn-j.net/>) にてお知らせいたします。

●申込方法・期限：下記専用フォームからお申し込みください。

<https://customform.jp/form/input/24673/?key=246585b0>

期限：2018年10月5日（金）16:00 まで

※URL にアクセスできない等の不具合がありましたら、以下お問い合わせ先のアーツカウンシル新潟へご連絡ください。

【対象・定員】

対象：創造農村に関心のある自治体や団体の職員等

【その他】

宿泊の斡旋はありませんので、各自でご予約をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

平成 30 年度文化芸術創造都市推進事業受託者

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団（アーツカウンシル新潟）

担 当：福島、高橋

メール：ccnj@niigata.email.ne.jp

電 話：025-234-4530

石垣市観光文化スポーツ局観光文化課観光推進班

担 当：宮良（みやら）

メール：kenya@city.ishigaki.okinawa.jp

電 話：0980 - 82 - 1535(内線 639)

日程 平成 30 年 10 月 17 日（水）・18 日（木）

場所 石垣市民会館大ホール、小ホール（沖縄県石垣市）他

【創造農村ワークショップ】

〈趣旨〉

八重山諸島には、独自の歴史に育まれた伝統芸能や伝統工芸等、個性溢れる文化芸術が受け継がれ、現代の生活文化に息づいている。特に、伝統芸能は四季折々の伝統行事のなかで継承されている他、八重山民謡や舞踊など、人々の生活の一部となっている。また、八重山高等学校郷土芸能部の活動は沖縄県内でも非常に活発であり、全国大会の常連として知られるなど、子どもたちへの継承も盛んに行われている。さらに、伝統音楽は、消滅危機言語である八重山語（八重山方言）の保存継承の意義も大きい。

こうした八重山音楽をはじめとする八重山諸島の文化的価値を継承し、さらにその継承のあり方そのものが、多くの島しょ地域を持つわが国の地域にとってのモデルとなるとともに、世界に発信していくことが可能であると考えます。

本シンポジウムでは、八重山音楽を中心として保存継承及び持続的な創造のあり方を議論し、今後の展開可能性を考える機会とするとともに、国際的な発信及び文化交流に向けて、音楽分野でのユネスコ創造都市の登録に向けた第一歩とする。

〈登壇者プロフィール〉

久万田晋（沖縄県立芸術大学 附属研究所長・教授）

高知県高知市生。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）修了。1990年、沖縄県立芸術大学附属研究所講師として着任。2007年、同大学附属研究所教授。専門は、日本・沖縄を対象とした民族音楽学、民俗芸能論、ポピュラー音楽論。主な著作は『沖縄の民俗芸能論-神祭り、臼太鼓からエイサーまで-』（単著、2011年）、『エイサー360度 歴史と現在』（共著、1998年）、『日本民謡大観 奄美・沖縄 奄美諸島篇』（共著、1993年）など。

大工哲弘（八重山民謡 唄者）

1948年、沖縄県八重山郡石垣市字新川に生まれる。1968年、本格的に八重山民謡を山里勇吉に師事。県内外及び海外コンサートにも多く出演。CDアルバムも20数枚リリース。99年に沖縄県無形文化財（八重山古典民謡）保持者に指定。2015年・琉球民謡音楽協会名誉会長に就任、同年、全沖縄の民謡協会9団体の共同代表となる。八重山地方に伝承される多彩な島の歌をこなし八重山民謡の第一人者として地位を築いている。また八重山民謡教室の支部を全国に持ち、沖縄・八重山民謡の普及・育成にも力をそそぐ。現在、沖縄でもっとも幅広い活動をしているミュージシャンである。

野田隆司（桜坂劇場 / Music from Okinawa プロデューサー）

長崎県佐世保市生まれ。那覇市の文化拠点である桜坂劇場の経営全般とライブイベント・音楽レベルの企画・プロデュースを担当。長年にわたり海外からも多くのアーティストを招聘し、沖縄のアーティストとのコラボレーションを実現させてきた。劇場と周辺のライブハウスやバー、カフェを連動させた”ブロックパーティー的”音楽フェスティバル「Sakurazaka ASYLUM」を2007年から開催。

また、アジアの音楽プロデューサーを招いての音楽カンファレンス「Trans Asia Music Meeting」を行い、沖縄音楽を国内外に発信するとともに、アジアとの音楽ネットワーク構築を進めている。

【エクスカージョン（予定）】

（A）八重山伝統音楽体験

三線、太鼓による八重山伝統音楽の演奏体験。

（B）八重山ミンサー見学・体験

みんサー工芸館にて伝統工芸・八重山ミンサーの見学及び手織り体験。八重山ミンサーは、国の伝統的工芸品に指定されている。

<http://www.minsah.co.jp/>

（C）川平観光農園体験プログラム

サトウキビや様々なトロピカルフルーツを栽培しており、農園体験はサトウキビを中心としたメニューが多く、収穫から調理まで体験できる。

サータアンダギー作り、八重山そば作り体験、サトウキビ搾り体験、紅芋もち作り体験

（D）離島（小浜島・竹富島）視察

離島の文化観光の現状について視察。